学校番号	408

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康や安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぼう。
・日常生活で直面するであろうそれぞれの健康課題を知り、その解決方法を考えよう。
・健康や安全についての社会的な取り組みや個人での対応について知ろう。
・身近な健康問題に興味をもとう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
健康を保持増進させるためには、どのような生活行動が必要かを理解できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について自分で考えることができるようになる。また、健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人の対応と関連づけて実践できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人の健康を保持増進するための課題や社会生活における健康・安全課題やその解決方法について理解している。 自らの健康を適切に管理し、環境を改善していくための事柄について理解している。	健康を保持増進するための課題や、個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、それまでに学んだ知識を活用し、話し合いができたり、ノートなどに記述したりするなど、筋道を立てて説明ができる。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理し、生活環境を自ら改善していくことに関心を持とうとしている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を通じる健康	1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康	a:性に関する情報を正しく判断し、説明することができ、正しい性行動をとることができる。また、結婚生活を健康にするために大切なことを理解し、説明することができる。 b:性意識の変化に対して理解し、異性を尊重することの大切さについて考えることができる。また、結婚生活には心身の発達が欠かせないということや、家族の健康への責任がともなうことについて考えることができる。 c:思春期の体と心の健康・結婚・出産・育児について関心をもって調べることができる。	定期考査 小テスト など	ノートの記述 レポート プレゼンテーション パフォーマンス課題 など	授業態度の観察 ノートの記述 振り返りシート など
2学期		8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	a:働くことは私たちの生活を支える大切なことであるが、多様な健康問題が生じていることや余暇の有効活用が心身のリフレッシュにつながり、生涯を通じて健康を保つために重要であることを理解し、それらを説明することができる。 b:働き方が変化してきたことで生じる健康問題や働くことで生じる疲労やストレスを解消するための方法について考え、発表することができる。 c:働くことの意義と、働くことと健康のかかわりや職場における健康増進活動について調べたりできる。	定期考査 小テスト など	ノートの記述 レポート プレゼンテーション パフォーマンス課題 など	授業態度の観察 ノートの記述 振り返りシート など

	健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみ処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	a:大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解し、説明することができる。 b:水質汚濁と土壌汚染が与える健康影響について考え、発表することができる。 c:大気汚染の原因と健康影響や、それらが地球規模で問題となっていることを知っている。			
3学期		7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	a:健康の保持増進をしていくために、健康情報の活用などの方法を理解し、説明することができる。 b:保健サービスや医療サービスの活用方法について学び、発表することができる。 c:保険制度と医療制度について調べることができる。	定期考査 小テスト など	ノートの記述 レポート プレゼンテーション パフォーマンス課題 など	授業態度の観察 ノートの記述 振り返りシート など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度